

教科名	地歴・公民	単位数	3 単位	担 当 者	小野 辰朗
科目名	地理探求	年次	3年次		
使用教科書 副教材等	「高等学校 新詳地理探求」(帝国書院) 「新詳高等地図」(帝国書院) 「新編地理資料 2024」(とうほう) 「地理統計PLUS」(帝国書院) 「26サクシード地理」(啓隆社) 「27共通テスト実力トレーニング地理」(啓隆社)				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の自然環境、資源と産業、生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	地理に関わる事象の意味、特色や相互の関連を、位置や分布、人間と自然環境との相互関係、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。		
主 た る 評 価 方 法	定期考査	定期考査	ノートの提出 プリント等の提出 行動の観察		
占 め る 割 合	50%	30%	20%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
	第2部 現代世界の地誌的考察 第2章 自然環境 5節 西アジアと中央アジア 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 7節 EU諸国 8節 ロシア 9節 アメリカ合衆国 10節 ラテンアメリカ 11節 オーストラリアとニュージーランド	◎	◎	◎	①西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南のアフリカ、EU諸国の自然環境や気候、産業などについて体系的に理解し、基本的な知識を身につけている。 ②西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南のアフリカ、EU諸国の地誌的事項を自然環境や風土と結びつけ多角的・多面的に考察し、表現している。 ③西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南のアフリカ、EU諸国の地誌的事項や、そこに見られる現代的課題を主体的に追求しようとしている。 ①ロシアや南北アメリカ、オーストラリアとニュージーランドを含めた環太平洋地域の自然環境や気候、産業などについて体系的に理解し、基本的な知識を身につけている。 ②ロシアや南北アメリカ、オーストラリアとニュージーランドを含めた環太平洋地域の地誌的事項を自然環境や風土と結びつけ多角的・多面的に考察し、表現している。 ③ロシアや南北アメリカ、オーストラリアとニュージーランドを含めた環太平洋地域の地誌的事項や、そこに見られる現代的課題を主体的に追求しようとしている。	a. 定期考査 b. 定期考査 c. ノートの提出 プリント等の提出 行動の観察
	第1部 現代世界の系統地理的考察 第2章 資源と産業	◎	◎	◎	①資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 ②資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多角的・多角的に考察し、表現している。 ③資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	

